


盆栽類の輸出に向けて

EU等の諸外国では、盆栽がブームになっているため、日本からの輸出量が増えています。しかし、盆栽を栽培している鉢の中には、植物に害をもたらす線虫が棲んでいることが多くあります。そして、輸出先での検査で線虫が見つかったら、輸出することができません。そこで、盆栽の輸出が円滑に行えるように、盆栽の鉢土内の線虫を駆除する方法を開発しました。

その方法は、大きく分けて、「農薬を使う」、「根を洗う」、「取り木を行う」の3種類あります。農薬で駆除した後、根をさまざまな方法で洗うことで、鉢の中の線虫はほとんどいなくなります。

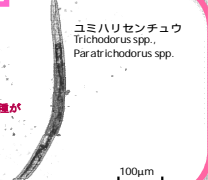
根洗いで根外線虫を除去
45・40分間温湯浸漬
注意！障害：ゴヨウマツ

ウィルスを媒介するグループ



オオハリセンチュウ
Xiphinema spp.


特にオオハリセンチュウは、植物病原性ウィルスを媒介する種が含まれるため、検疫では警戒されている。




コムハリセンチュウ
Trichostrongylus spp.
Paratrichodorus spp.

100µm

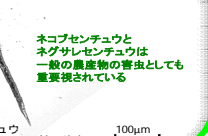
根の中に侵入するグループ



ネグサレセンチュウ
Pratylenchus spp.



ネコブセンチュウ
Meloidogyne spp. (幼虫)




シストセンチュウ
Heteroderidae (科) (幼虫)


100µm

ネコブセンチュウとネグサレセンチュウは一般の農産物の害虫としても重要視されている。

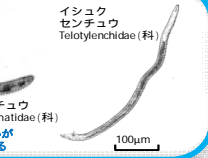
その他のグループ



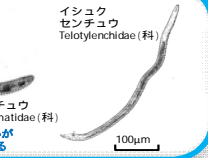
ラセンセンチュウ
Helicotylenchus spp.
Scutellonema spp.



ピンセンチュウ
Paratylenchus spp.



ワセンチュウ
Criconematidae (科)



イシユクセンチュウ
Telotylenchidae (科)

100µm


農業害虫として問題になる例は少ないが、検疫上では関係視される可能性がある。

殺虫剤：フェニトロチオン
(商品名：スミチオン)
500倍・30分間根部浸漬
注意！薬害：モミジ・ツツジ


殺線虫剤：ホスチアゼート
(商品名：ネマバスター)
1000倍・10分間根部浸漬
注意！薬害：モミジ・ゴヨウマツ等

注意!!
植物の種類によっては、薬害や障害が出る場合があります。(赤字箇所)
しかし、処理時期などで対処できます。


【検疫対象となる線虫と密度低減法】




盆栽を鉢から抜き出し、密生した根を切ります。



ゴムハンマーで根鉢を叩き、土壌を落とします。



水を張ったバケツの中で、根をもむように土壌を落とします。



動噴を用い、細部に残った土壌を洗い流す。水圧は皮がむけない程度。残りは竹串等で仕上げます。

【効率的な根洗い方法】

これで土壌の99%が除去可能！